

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	3	7	10 (12)	3
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	23	25	27 (30)	11
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	2	3	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	1	1	5	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	2	0	4	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (1)	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	1	0	0	2

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第17週(4月22日~4月28日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	14	結核	14	2	1	4		4	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	2	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1				1			
		レジオネラ症	1				1			
五類	9	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1						
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	6	1				2	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 RSウイルス感染症

定点当たり1.57人の報告がありました。前週と比較して減少しましたが、多い状況が続いています。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

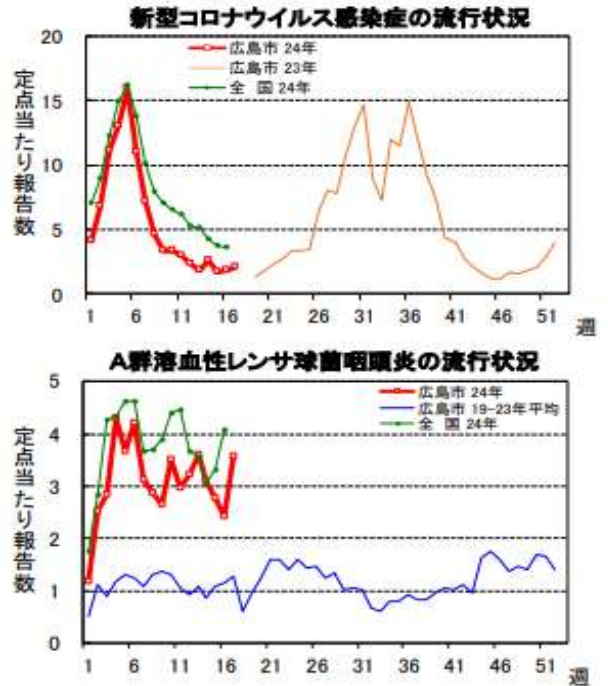
定点当たり2.00人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。全国でも、減少速度が鈍化しており、注意が必要です。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.57人の報告があり、多い状況が続いています。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感、莓舌などの症状が現れます。咳エチケットの励行や手洗いなどの感染予防対策を心がけましょう。

4 感染性胃腸炎

定点当たり7.48人の報告があり、増加傾向です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を心がけましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
インフル	インフルエンザ	13	0.38	1.17	↓	小児科	ヘルパンギーナ	2	0.10	0.03		前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	68	2.00		↔		流行性耳下腺炎	-	-	0.04		前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	33	1.57	0.44	↔	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.08		前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	7	0.33	0.40			流行性角結膜炎	10	1.25	0.20	↔	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	75	3.57	1.27	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	
	感染性胃腸炎	157	7.48	5.73	↔		無菌性髄膜炎	-	-	-			
	水痘	7	0.33	0.11			マイコプラズマ肺炎	-	-	-			
	手足口病	15	0.71	0.34	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.16			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.20			
	突発性発しん	7	0.33	0.34									

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	27	70歳代・3人、90歳代・1人
5	梅毒	2	42	30歳代、40歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	80歳代